

三木市 地域おこし 協力隊

問 (市) 農業振興課 農業政策係



▲ホームページ
はこちら



道の駅よかわ(㈱吉川まちづくり公社)で働きながら、酒米「山田錦」などを育む農村地域の活性化や新規就農に取り組む「三木市地域おこし協力隊」。今回は初の協力隊員として活動する吉川さんに日々の取組や、今後に向けた思いなどについて話を聞きました。

「半農・半X」での活動を支援する、市独自の制度 / 「三木市地域おこし協力隊」

市では、移住・定住の促進や農業分野における人材不足の解消、農村地域の活性化を目的に、市独自の地域おこし協力隊制度を令和7年4月からスタートしました。

この制度では、農業(半農)に取り組みながら、道の駅よかわを拠点に、㈱吉川まちづくり公社での業務や地域の仕事(半X)にも関わることで、地域に根ざした暮らしと就農ができるよう支援しています。

協力隊員は日々の農業に加え、スマート農業への挑戦や特産品の開発など、持続可能な農業と地域づくりに取り組みます。



▲ドローンやラジコンなどを活用したスマート農業を進め、作業の効率化を図る。



▲地域の課題解決に向け、農業関係者で集まり、定期的に意見交換などを行う。

地域とともに持続可能な農業をめざして

進学を機に一度は地元を離れましたが、将来は地元に戻り、地域貢献したいと考えようになりました。昨年「三木市地域おこし協力隊」の募集を知り、この思いを形にできると感じて応募し、協力隊員として任命されて活動を始めました。

現在は農業に携わりながら、道の駅よかわを拠点に、イベントの企画・開催や地域特産品のPR、新規就農者向けの取組などを行っています。

また、住民主体の地域づくりに「農」の要素を加え、住み続けられるまちをめざす活動組織「農村RMO」にも参画しています。「農地保全」「地域資源活用」「生活支援」の3つの柱を軸に昨年より議論を重ね、今年からは、草刈り作業の省力化や地域での農地集約化など、農地保全の分野から少しずつ具体的に動き出そうとしています。

活動を通じて、後継者不足や高齢化による人手不足といった課題を、より身近なものとして実感するようになりました。地域の現状を丁寧に見つめながら、良いものは大切に、必要な変化にも向き合い、これからも農業と地域に関わりながら、地元で暮らしていきたいと考えています。



地域おこし協力隊
吉川 忠希さん

「山田錦まつり」にもぜひお越しください！詳しくは7ページをチェック！

編集発行：三木市総合政策部秘書広報課 ☎0794-82-2000(代) 〒673-0492 上の丸町10番30号 https://www.city.miki.lg.jp/

広報みきは新聞折込(日刊紙)、宅配でお届けしています(点訳版・音訳版もあり)。新聞未購読の方や点訳版・音訳版をご希望の方は(市)秘書広報課までご連絡ください。

人口(1月末現在) 72,171 (112) 男: 34,891 (62) 女: 37,280 (50) 世帯数: 35,036 (63)